

バス事業者と連携した「異常時対応」への取り組み

5月25日(水) 東武越生線において 「代行バス輸送訓練」を実施しました

東武鉄道株式会社

東武鉄道（本社：東京都墨田区、社長：根津嘉澄）では、2022年5月25日（水）に、東武越生線（坂戸駅～越生駅間）において、「代行バス輸送訓練」を実施しました。

この訓練は大規模な事故・災害等が発生し、長時間の運転見合わせが見込まれる場合、運転見合わせ区間における輸送の確保が重要になることから、バスによる代替輸送の実施を想定し、計画をしたものです。

当日は、東武越生線において、走行中の列車が大型台風による強風及び大雨の影響により発生した軌道上の倒木と衝突、床下機器等の破損により自力走行不能となり、長時間の運転見合わせが発生したという想定のもと、川越観光自動車株式会社と連携し、連絡体制、お客様のご案内方法、運行ルートの確認等を実施しました。

当社では、今後も万一の不測の事態に備え、また異常時においても事業の継続ができるよう、定期的に訓練を実施することで、社員一人ひとりのさらなる知識・技能の向上を図るとともに、安全意識の高揚に取り組んでまいります。

概要は別紙のとおりです。

以上



(お客様のご案内方法の確認)



(運行ルートの確認)

△実施した代行バス輸送訓練の様子

「代行バス輸送訓練」の概要

1 日 時 2022年5月25日(水) 10:30 ~ 13:30

2 場 所 東武越生線(坂戸駅~越生駅間)

3 参加機関 東武鉄道株式会社
川越観光自動車株式会社(東武グループ)

4 訓練想定

運転士は川角駅を約45km/hで力行中、前日の台風による強風及び大雨の影響により軌道の上に倒木を発見、非常ブレーキ手配を執ったが及ばず倒木と列車が衝突、坂戸起点5km970m付近に停車した。これにより床下機器等が破損しているため自力走行不能、この旨、運転指令に一報し救援列車を手配。なお、長時間の運転見合わせが見込まれることから、振替輸送及び坂戸~越生間の代行バス輸送を実施する。

5 訓練内容

- (1) 連絡体制の確認
- (2) 誘導及び案内方法の確認
- (3) 実走による代行バス運行ルートの確認

以 上